

整理番号	提案等委員	内容	検討の方向性	六次計画への位置付け（案）
1	朝比奈委員	障害のある子どもに係る相談について、県総合計画における子どもの一般施策の枠組みとのすり合わせが必要であり、障害児というくりに拘らず枠組みを広げて考える必要がある。	県総合計画案における「子どもの育成」や「子育て支援」との関連性	県総合計画案における関連付けはないため、障害者計画としての位置付けとする
2	朝比奈委員	就労に係る相談について、相談支援の役割をどこまで見込んでいくのかを意識して議論すべき。	就労支援との役割	就労支援における連携の中で位置付け
3	田中委員	障害児等療育支援事業、子育て支援事業などとのシームレスな相談支援を意識しながら考えていくべき。	社会資源の有効な活用	障害児等療育支援事業、子育て支援事業などとの連携
4	田中委員	地域共生社会の推進に向けて、包括相談の観点から相談支援専門員の育成や質の向上を考えていくべき。	地域共生社会の推進に向けた相談支援専門員の育成と質の向上	地域共生社会の推進に向けた相談支援専門員の育成と質の向上
5	伊藤委員	手帳があるかないか、介護と医療の谷間など障害福祉サービスだけではなく谷間の課題に目を向けていく必要がある。	谷間の課題	中核地域生活支援センターとの役割分担と連携
6	寺田部会長	根本的に大切ところで、この計画の対象をどう捉えるのか。相談支援体制は、まさに総合相談、包括相談、地域共生社会の実現まで含めた体制を考える必要がある。	地域共生社会の実現に向けた相談支援体制	地域共生社会の実現に向けた相談支援体制
7	飯田副部会長	医ケアが必要な障害児の地域移行に係る相談支援専門員の役割が期待されているが、どこまで考えていけるか。	関連分野の支援を調整するコーディネーターの必要性	コーディネーターの役割を担う人材の養成
8	岸委員	刑務所から退所した障害者に係る相談支援について、地域の課題として取り組む必要がある。	五次計画取組の方向性 7－（２）－⑤との関連性	地域生活定着支援センターと相談支援事業所との連携支援
9	伊藤委員	相談支援専門員の質の向上について、スペシャリストとジェネラリストの両方求められているが、その方向性をどう考えていくか。	相談支援専門員の質の向上	国の研修体系の見直しを踏まえた育成ビジョン
10	田中委員	相談支援の質の向上や担保において、基幹相談の中でのアドバイザー機能は重要である。	基幹相談支援センターの機能と役割	市町村における設置促進を支援
11				
12				